

博士課程

2020

授業科目〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科

授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究Ⅰ	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90253	比較民俗学研究A	2	前期	1・2	講義	22
90254	比較民俗学研究B	2	後期	1・2	講義	24
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	26
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	27
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	28
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	29
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	30
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	31
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	32
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	33
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	34
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	35
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	36

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90225	民族舞踊学研究	4単位 通年	1・2	講義	呉屋 淳子

■**テーマ** パフォーマンス研究を通じて、民族舞踊について理論的、創造的視点から学ぶ。

■授業の概要

本講義では、リチャード・シェクナーの唱える「パフォーマンス」観を通して、「パフォーマンス・アーツ」「日常生活におけるパフォーマンス」「文化的パフォーマンス」について考察し、現代社会における舞台芸術について理解を深める。

■到達目標

- ・文献講読とディスカッションを通して、舞台芸術としての「パフォーマンス」の概念について理解することができる。
- ・現代社会における民族舞踊を取り巻く支配的言説に対して、新たな価値観を発信していくことができる。

■授業計画・方法

〈前期〉

1. ガイダンス、「批判的理論とパフォーマンス」
 2. 「文化的パフォーマンス」(1)
 3. 「文化的パフォーマンス」(2)
 4. 演劇と文化人類学(1)
 5. 演劇と文化人類学(2)
 6. エスノグラフィー(1)
 7. エスノグラフィー(2)
 8. 身体(1)
 9. 身体(2)
 10. ミュージアムと展示(1)
 11. ミュージアムと展示(2)
 12. ジェンダー(1)
 13. ジェンダー(2)
 14. ロール・プレイング(1)
 15. ロール・プレイング(2)
- 定期試験は実施しない。

〈後期〉

1. 「パフォーマンスとアイデンティティ」(1)
 2. 「パフォーマンスとアイデンティティ」(2)
 3. 「パフォーマンス研究」(1)
 4. 「パフォーマンス研究」(2)
 5. 争われる戦争の記憶—「エラノ・ゲイ」「昭和館」と嶋田美子(1)
 6. 争われる戦争の記憶—「エラノ・ゲイ」「昭和館」と嶋田美子(2)
 7. アメリカ「発見」の逆民族誌的パフォーマンス(1)
 8. アメリカ「発見」の逆民族誌的パフォーマンス(2)
 9. オリンピックと開会式と国民国家(1)
 10. オリンピックと開会式と国民国家(2)
 11. 東京の『ミス・サイゴン』—観客の作り方と作られ方(1)
 12. 東京の『ミス・サイゴン』—観客の作り方と作られ方(2)
 13. 介入への実践を目指して
 14. 映像研究(1)
 15. 映像研究(2)
- 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・教科書は必ず購入し、各回の授業終了時に指示するページを十分に読み込んでおくこと。
- ・教科書や参考文献、授業で紹介する文献以外にも、パフォーマンス研究に関する文献を積極的に読むこと。

■成績評価の方法・基準

□**方法** レジюмеおよびレポート(60%)、講義の取り組み方(40%)で総合評価する。

□**基準** 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究所(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献(資料)等

□**教科書**(前期) 高橋雄一郎 2011 『パフォーマンス研究のキーワード—批判的カルチュラル・スタディーズ入門』世界思想社

(後期) 高橋雄一郎 2005 『身体化される知—パフォーマンス研究』せりか書房

□**参考文献** リチャード・シェクナー 1998 『パフォーマンス研究：演劇と文化人類学の出会うところ』高橋雄一郎訳、人文書院。

京都造形大学舞台芸術研究センター 2005 『舞台芸術』(8)、月曜社

Victor Turner 2001 The Anthropology of Performance, New York: PAJ Publications.